

日本学術振興会ロンドン研究連絡センター概要

令和7年1月

1. 設立年 平成6年度
住所 14 Stephenson Way, London, NW1 2HD
2. 体制（令和7年1月現在）
センター長（1名）：運営全般に関する責任者
副センター長（1名）：運営に係る事務全般の総括を担当（資金前渡主任、分任契約担当者）
国際協力員（1名）：大学から派遣される事務職員（国際学術交流研修生*）
現地職員（2名）
3. 活動目的
日本と英国および周辺国（アイルランド、ベルギー、オランダ等）等との学術交流を促進することを目的とし、対象国の学術振興機関や大学等との連携、本会事業経験者のネットワーク作り、日本の大学の海外活動支援、学術動向把握等の活動を行う。
4. 主な活動内容
 - (1) 海外の学術振興機関との協議その他の連携
 - ・ The Royal Society, British Academy, The Royal Academy of Engineering, The Academy of Medical Sciences, UK Research Innovation, BBSRC, EPSRC, British Council, The Royal Society of Chemistry, The Royal Institute、チャリティ団体(Wellcome Trust等)と事業運営やシンポジウム共催等における連携強化や情報交換を行う。
 - ・ スコットランドThe Royal Society of Edinburghとの協力関係を維持・強化。
 - (2) 研究者招聘事業その他の振興会事業の海外における実施
 - ・ 研究者招聘事業の実施や関係機関との連絡調整
 - ・ 大学等における事業説明会の実施
 - (3) 大学等の海外活動拠点の構築や大学職員の海外研修の実施等を通じた我が国の大学等の海外活動展開の協力・支援
 - ・ 国際協力員の受け入れ、および国際実務研修の実施
 - ・ 日本の大学(海外事務所含む)が英国で実施するイベントの開催支援や後援等を積極的に実施。
 - ・ 日本からの来訪者(大学等職員、研究者等)の対応
 - (4) 日本人研究者も含めた現地のネットワーク構築とフォローアップ活動
 - ・ JSPS同窓会活動の支援
 - ・ 在英日本人研究者会(JBUK)に関するデータベースの運営
 - ・ 定期的なネットワークイベントの開催を通じた関係構築や強化
 - ・ ニュースレターの発行
 - (5) シンポジウムの実施等による我が国の学術情報の発信や海外の学術動向などに関する情報収集
 - ・ 学術シンポジウムの実施
 - ・ 同窓会及びJBUKのメンバーを対象とした、シンポジウム等の助成。
 - ・ 現地の学術動向に係る情報を収集し、ポータルサイトおよびセンターウェブサイトにおいて公開する。
 - (6) その他
5. ホームページ
<https://www.isps.org>

* 大学等の職員を対象として、国際交流に関する幅広い見識と高度な実務能力を有する専門的な職員の養成を目的とした国際学術交流研修を行っています。受講者は、JSPS東京本部における国際学術交流の実務研修(1年間)、JSPS海外研究連絡センターにおける海外実務研修(1年間)計2年間の研修を受講します。